

少数台数のリコール届出の公表について（平成26年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成26年7月は12件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月 1日	3387	車名：ニッサン 型式：CBF-FPWGE50 通称名：パラメディック	47	平成25年11月11日～ 平成26年 1月29日
不具合の部位等	救急車の自動変速機において、車両出荷時に実施した点検方法が不適切なため、トルクコンバータが異常発熱して、オイルポンプブッシュの一部が溶損したものがあある。そのため、そのまま使用を続けると、オイルポンプブッシュの損傷が進行してシール性能が低下し、オイルが漏れて、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：株式会社協同

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月 3日	3383	車名：いすゞ 型式：LKG-CYJ77A改 他 通称名：ギガ	23	平成23年 1月15日～ 平成25年 2月 2日
不具合の部位等	燃料装置を軽油からCNGに変更した大型トラックにおいて、点火装置のイグニッションコイルの耐久性が不足しているため、早期に十分な点火をすることができなくなり、バックファイアーやアフターファイアーが発生するおそれがある。そのため、そのまま使用を続けると、バックファイアーによりスロットルバルブが変形して、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。			

3. 届出者：株式会社協同

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月 3日	3384	車名：いすゞ 型式：LKG-CYJ77A改 他 通称名：ギガ	41	平成23年 1月15日～ 平成26年 3月 9日
不具合の部位等	燃料装置を軽油からCNGに変更した大型トラックにおいて、EGRパイプの材質及び溶接方法が不適切なため、車体振動によりEGRパイプフランジ部に亀裂が生じる事がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、EGRパイプフランジ部の亀裂が進行して排気漏れが発生するおそれがある。			

4. 届出者：株式会社ヤナセグローバルモーターズ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月 3日	外2066	車 名：GMC 型 式：不明 通称名：A c a d i a	2	平成25年 5月31日
不具合の部位等	<p>運転者席及び助手席のシートベルトにおいて、乗降するたびにシートベルトスリーブに繰り返し負荷がかかることで内部のケーブルが破断することがある。その状態で事故が発生した場合、シートベルトが適切に作動せず、被害が拡大するおそれがある。</p>			

※ 平成26年7月3日 公表済み

5. 届出者：ニチュ三菱フォークリフト株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月 8日	3377	車 名：ニチュ 型 式：254AA 他 通称名：トランサー	5	平成16年 7月29日～ 平成24年12月14日
不具合の部位等	<p>バッテリー式フォークリフトのバッテリープラグにおいて、プラグ端子の圧着方法が不適切なため、当該圧着部分の接触抵抗が増加し、バッテリー電流が大きいとプラグ端子が過熱する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、負荷の大きな作業を連続して行った場合に、バッテリープラグの樹脂部が熱変形し、バッテリー側と車両側の電気接点が離れることで、電源が切れて車両が停止するおそれがある。</p>			

6. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月 9日	3385	車 名：日野 型 式：TKG-XZU685M 他 通称名：日野 デュトロ 他	6	平成26年 5月12日～ 平成26年 5月30日
不具合の部位等	<p>小型トラックの車体（キャブ）の溶接工程において、アンダーボデー用自動溶接機のプログラムが不適切なため、シートベルト取付部付近の溶接打点が不足しているものがある。そのため、衝突時にシートベルト取付部が変形し、乗員を拘束できなくなるおそれがある。</p>			

7. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月 9日	3386	車 名：トヨタ 型 式：LDF-KDY281 他 通称名：ダイナ／トヨエース	33	平成26年 5月12日～ 平成26年 5月21日
不具合の部位等	<p>小型トラックの車体（キャブ）の溶接工程において、アンダーボデー用自動溶接機のプログラムが不適切なため、シートベルト取付部付近の溶接打点が不足しているものがある。そのため、衝突時にシートベルト取付部が変形し、乗員を拘束できなくなるおそれがある。</p>			

8. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月10日	外2067	車 名：シボレー 型 式：不明 通称名：コルベット	13	平成26年 4月21日～ 平成26年 5月19日
不具合の部位等	リヤショックアブソーバーにおいて、取付部分の溶接が不適切なため、当該部分が破損するものがある。そのため、異音が発生して走行安定性に支障をきたすおそれがある。			

※ 平成26年7月10日 公表済み

9. 届出者：株式会社ソーシン

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月22日	3390	車 名：ソーシン 型 式：PY5KUFM 他 通称名：-	32	平成12年 7月 1日～ 平成26年 1月31日
不具合の部位等	燃料タンクにおいて、燃料タンク及びタンクを固定しているサポートブラケットの形状が不適切なため、車体の振動により燃料タンクの下面に亀裂が発生する場合がある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該亀裂部から燃料が漏れるおそれがある。			

10. 届出者：ニコル・レーシング・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月25日	外2072	車 名：BMWアルピナ 型 式：ABA-5M1C 他 通称名：B5ビ・ターボ 他	88	平成23年 5月17日～ 平成25年 4月 9日
不具合の部位等	エンジンコントロールユニットのソフトウェアが不適切なため、過給制御に係る故障が検知された場合、エマージェンシーモードに移行せず、エンジンが停止し、再始動できなくなる恐れがある。			

11. 届出者：フォード・ジャパン・リミテッド

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月29日	外2071	車 名：フォード 型 式：ABA-WF0SFJ 通称名：フィエスタ	43	平成26年 3月10日～ 平成26年 3月24日
不具合の部位等	燃料ポンプにおいて、内部の回転部品のコーティングが不適切なため、コーティングが剥離して回転部分に噛み込むものがある。そのため、回転抵抗が増加して燃料ポンプからの燃料吐出量が低下することで、最悪の場合、走行中のエンストやエンジンが始動不能となるおそれがある。			

12. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月31日	3404	車名：三菱 型式：BKG-FP54JDR 他 通称名：ふそうスーパープレート	33	平成19年 6月 6日～ 平成21年 7月 28日
不具合の部位等	大型トラックにおいて、変速機のアウトプットシャフトの溶接が不適切なものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、アウトプットシャフトの溶接部が破損し、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。			

※ 平成26年7月31日 公表済み

【参考】

●平成26年7月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	29件 (+13)	21件 (+11)	8件 (+2)
輸入車	13件 (+3)	9件 (+2)	4件 (+1)
計	42件 (+16)	30件 (+13)	12件 (+3)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成26年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	20(+2)	11(+4)	31(+6)	1,147,842(+123,920)	39,200(+31,700)	1,187,042(+155,620)
5	10(+2)	11(-2)	21(±0)	58,716(-211,951)	5,374(-113,316)	64,090(-325,267)
6	14(-9)	17(+8)	31(-1)	2,118,282(+1,412,644)	47,959(+43,627)	2,166,241(+1,456,271)
7	29(+13)	13(+3)	42(+16)	361,914(-726,397)	33,475(+18,818)	395,389(-707,579)
小計	73(+8)	52(+13)	125(+21)	3,686,754(+598,216)	126,008(-19,171)	3,812,762(+579,045)

※ () 内は、対前年比

注：6月分の対象台数については、平成26年7月3日付けで対象車両の確定報告があったことから、修正し更新した。